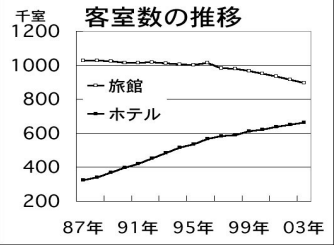



# きらく ばなひ

第3回  
平成19年4月

▼日本の宿泊業では和室が減り洋室が増えております。お客様は和室より洋室に宿泊されたいのでしょうか？横になってくつろげる和室のほうが好まれるのです。なのにどうして和室が減っているのでしょうか。これは「ホテル」が増え「旅館」が減っているからなのです。▼なぜで旅館は嫌われるのでしょうか。私は料金のあいまいさ、個人客に対応していない点にあると見ています。お客様が団体から個人に変化して料金形態の不合理さが目に付いてきたのです。▼「ホテル」では宿泊料を室料と言いつつ一人一室が基準です。だから「1人で使いたい」と言うことで勝手に、1人でも

同じ料金です」と返事がきまな部屋に何人入るか、平日す。「旅館は一人当たりの泊か土曜日か宿泊料を決めてない点に有るのです。二食付料金表示がほとんど紙面が無いので次号にどです。そして1室に何人入った時の料金かがいまなりませんが、食事の有無がないのです。正月など泊料金形態をさらに複雑に二食付2万円で4人を一室泊まると仮定して「2室で泊まると仮定して「2室は数字上一室8万円だから



郡山市熱海町4丁目39番  
 磐梯熱海温泉  
 磐梯熱海駅前  
  
 電話 024-984-2130  
 ホームページ: <http://kirakuya.jp>

（きらくや社長・村田英男）  
 九六年十月に夕食を別料金にして「室当たりの人数ごとの料金表示、営業を開始して11年目を迎えました。